

自己評価公表シート

令和8年度 第1回 津山社会福祉事業会 津山乳児保育園

1. 本園の保育目標

子どもが健康で心豊かに成長するため、保護者や地域社会とともに子育てを進めます。

1. 心身ともに健康で丈夫な子どもを育てます。
2. 豊かな生活経験のなかから、基本的生活習慣を身に着けることができる子どもを育てます。
3. 安心した気持ちで、さまざまな活動を通して共通の目的を見出し、協力して遊びを楽しめる子どもを育てます。
4. 豊かな感性を持ち、自分の思いが表現できる子どもを育てます。

2. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
保育について 保育目標・保育・行事について職員が連携して「子どもの最善の利益の尊重」を最優先して子ども主体とした保育を行う。	園内研修や、法人内、外の研修に積極的に参加し、他者の意見を受け止め、自らの保育を振り返り次の保育に活かしている。職員間での共通理解を図りながら保育士等の専門性の向上に努めている。特に0, 1歳児の子どもの主体性を育てる保育については、園内研修の機会を取り入れて、日頃の保育の振り返りや、職員間のチームワークを意識するようにしている。
開かれた保育所づくり 信頼される保育園として、保護者、地域、専門機関との連携と貢献を図る。	保護者との日々の対話や連絡を大切にし、子どもの成長や発達を共有しながら信頼関係の構築に努めています。今後の課題として、地域との交流機会や子育て支援の取り組みをさらに充実させ、開かれた保育園づくりを推進するとともに、地域への貢献にも努めていきたい。
運営・保健・安全指導について 自分の職務や役割分担を理解し、安心安全な保育について、職員間で連携を取りながら責任を持ち意欲的に取り組む。	職員一人ひとりが役割を理解し、情報共有を密に行いながら、安全で安心できる保育環境づくりに努めるよう努力しているが、役割の理解が十分でないと感じられることもあるので、引き続き職員会議、年齢別会議等で周知を図り、今後も危機管理意識を高め、安全対策の充実に努めます。
その他 安心安全な保育環境と楽しい保育の提供に努める	子ども一人ひとりの発達や気持ちに寄り添い、安心して過ごせる環境づくりに努めた。乳児期にふさわしい遊びや生活を大切にし、保護者と連携しながら健やかな成長を支援できるように努めている。

3. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み状況
乳児の発達過程を十分理解したうえで、子どもたちが安全に安心して過ごせる保育の計画を実施する。	一人ひとりの発達や生活リズムを丁寧に把握し、子どもの主体性を大切にした保育計画の作成、実践に取り組みました。今後も職員間で子どもの姿を共有しながら、安心して過ごせる環境づくりに努めていく。
全職員の共通理解と連携を図っていく。	職員会議や年齢別会議、日々の申し送りを通して情報共有を行い、一人ひとりの子どもの育ちや配慮事項を全職員で共通理解し、連携した保育の実践に努めている。
職員の資質向上に取り組む専門性を磨く。	園内の研修に積極的に参加し、学びを職員間で共有することで、専門性の向上に努めている。また、外部講師による研修や、講師と職員間でのディスカッション等では、自身の保育を振り返る機会になり、今後の保育への取り組み方について考える良い機会となっているので継続していく。
保護者、地域、専門関係との連携を図る。	ICTを活用した連絡や情報発信により、保護者との円滑なコミュニケーションを図るため努力しています。はれそら広場の活用により、地域の子育て支援事業や専門機関との連携について取り組んでいる。今後更なる努力と新しい試みも取り入れていきたい。